

令和7年度
(令和7年4月～令和8年3月)

第3期 あずましプラン 実施報告書

令和7年度評価（括弧内は令和6年度評価）

1 目標 4.1 (4.2)

2 目標 3.9 (4.1)

3 目標 4.1 (3.9)

4 目標 3.8 (4.0)

令和8年6月17日（水）
月形町社会福祉協議会

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	①あずましプラン推進会議の運営 4.0 (4.1)
目的・目標	地域住民・関係機関・団体等と協働し、計画に定める具体的な事業推進に関し、あずまし計画の進行状況の確認と評価を適時実施して、町民へ周知をする。そのために、策定委員会の委員を中心に、その委員会の名称を「あずましプラン推進会議」に変更する。
実施内容 (令和7年度)	令和7年11月10日(月) 第1回あずまし推進会議 13名委員出席 内容: 第3期あずましプラン上半期実施報告 令和7年度町民フォーラム(案)について 7年度の評価は、7年度事業が終わってから、8年6月までに行うこととしている。
次年度に向けて	継続

事業名	②中核となる町内会や各団体との事業の連携 3.8 (3.7)
目的・目標	身近な地域の困りごとや悩み事など、地域住民の声を聞くことで福祉ニーズを把握し、地域の福祉問題や課題に対し、解決に向けた仕組みづくりや対策について、地域住民とともに協議し、協働していく。
実施内容 (令和7年度)	令和7年6月26日(木) 運営協議会 12名出席 行政区や町内会の状況、困りごと等を聞いている。 ボランティア活動、町内会の自主的な活動、ゴミの捨て方等の意見が出ている。 また、行政区、町内会とは必要に応じて情報提供を行っている。
次年度に向けて	継続 ・行政区との情報共有及び連携強化 ・事業周知と広報活動 ・地域の実態や福祉ニーズの把握

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	③町民フォーラム 4.4 (4.5)
目的・目標	急速な少子高齢化・人口減少により、家族形態の多様化やコミュニティ機能の低下など、公的な制度だけでは解決できない様々な福祉課題が発生している。そのような社会情勢に伴う福祉課題に対し、今後の月形町の地域福祉について課題を共有し町民と共に考えることで、互いに支えあいながら安心して暮らせるまちづくりを推進する。
実施内容 (令和7年度)	令和7年12月6日(土) 56名出席 内容:今年度の事業中間報告～あずましプランの進捗状況～ テーマ「縮充のまちづくり」 グループワーク「私の宝物」「地域の宝物」 月形の良さを再発見、確かめる機会となり、福祉の視点からみんなで支えていく町づくりについて考えました。
次年度に向けて	継続

事業名	④子ども・未来・まちづくりサミット 4.0 (-)
目的・目標	町子どもたちに、町の福祉について興味を持ってもらうことを目標とする。
実施内容 (令和7年度)	令和8年3月21日(土) ボランティアミーティングにて、月形高校生による月形町PR活動等について報告
次年度に向けて	継続 小中学校の福祉総合学習やボランティア活動の協力を行い、学生の視点で地域福祉を考える機会とし、報告の場を作っていきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり		
事業名	⑤認知症サポーターの養成と活躍の場づくり	3.7 (3.3)
目的・目標	近年、高齢化に伴う認知症高齢者の増加が社会問題となっているが月形町においても同様である。認知症の方々が、安心して地域で生活ができるよう、認知症について正しい知識をもち、本人や家族を応援するボランティア「認知症サポーター」の養成を行いながら、認知症の方々の活躍の場づくりについて考えていく。	
実施内容 (令和7年度)	11月15日(土)「ボランティアスクール秋」 36名参加 認知症対応講座「認知症の基礎知識を深める」～認知症の方々の生活を支えるヒント 講師 月形藤の園 施設長 保坂 昌知 氏	
次年度に向けて	継続 地域の中で認知症の方々の対応に困っているケースが多くなっており、色々な世代の方への情報提供や実際の地域対応について考えていきたい。	

事業名	⑥小・中・高校生における福祉総合学習	4.3 (4.3)
目的・目標	町内の福祉事業所と協力し、総合学習を通して月形小・中・高校の生徒が福祉やボランティア活動に興味関心をもち、町内の福祉の現状や仕事について積極的に考えてもらう。	
実施内容 (令和7年度)	小学校1年生 11月4日、12月2日 あずまし茶屋参加者との交流 小学校3年生 10月23日 車いす体験 11月 5日 手話体験 11月 7日 アイマスク、高齢者疑似体験	
次年度に向けて	継続	

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり		
事業名	⑦ボランティアスクール	4.2 (4.5)
目的・目標	小学生以上を対象とし、ボランティアについての知識や理解を深め、これからの地域福祉の担い手となるボランティア育成とボランティア活動の啓発・普及・活発化を推進する。	
実施内容 (令和7年度)	6月11日(火)月形高校1日防災学校 全校生徒参加 内容:「避難所体験、炊き出し体験」 8月2日(土)ボランティアスクール(春) 34名参加 内容:「災害時サバイバルクッキング」→令和5年度から継続で行っており、災害に対する意識が高まっている。 11月15日「ボランティアスクール秋」 36名参加 認知症対応講座「認知症の基礎知識を深める」～認知症の方々の生活を支えるヒント 講師 月形藤の園 施設長 保坂 昌知 氏	
次年度に向けて	継続	

事業名	⑧アクティブボランティア	4.2 (4.1)
目的・目標	今後、高齢者が介護や支援が必要になっても、出来る限り住み慣れた地域で安心して暮らすために、様々な団体による支援などが一元的に提供される「地域ケアシステム」の構築が求められている。そのためには、高齢者自身やその周囲の地域住民の協力が不可欠であり、住民主体の支援体制作りの担い手を養成する。	
実施内容 (令和7年度)	・今年度もボランティア活動や研修会等に参加している方々を対象に事業参加するとアクティブボランティア養成を修了としている。(ふれあいサロン、世代間交流会、福祉講演会等に参加している方々を対象。) ・ちよびボラの実施により、個人ボランティアの増員が7名ありました。	
次年度に向けて	継続 人材不足はあるが、アクティブボランティア修了の方々を中心に継続したボランティア活動ができる体制ができてきている。	

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり		
事業名	⑨世代間交流会	4.4 (4.4)
目的・目標	現代の社会情勢では、地域社会において世代間の交流機会が減っている。世代を超えて様々な人々と関わることは、こどもの学びや成長、高齢者の喜びや生きがいづくりに繋がり、地域の方々と協力し支えあう経験を通し、豊かな人間関係を育み、成長していけるよう働きかける。	
実施内容 (令和7年度)	・7月31日(木)第1回世代間交流会「スマホ教室」 34名参加。 老人クラブ連合会と共催 高校生、社会福祉法人職員、行政職員が教える側になりマンツーマンによる対応を行っている。 ・10月11日(土)第2回世代間交流会「ドライフラワーアレンジメント」 56名参加。 学童保育、福祉施設利用者、老人クラブ、ボランティア団体参加。福祉施設の高齢者は、リモートにて一緒に体験参加している。	
次年度に向けて	継続	

事業名	⑩地域での顔の見える付き合いづくり	4.5 (4.6)
目的・目標	身近な地域の困りごとや悩み事など、地域住民の声を聞くことで福祉ニーズを把握し、地域の福祉問題や課題に対し、解決に向けた仕組みづくりや対策について、地域住民とともに協議し、協働していく。	
実施内容 (令和7年度)	地区サロンの定期的開催 (別添参照)	
次年度に向けて	継続 サロンの自主的な運営が少しずつ始まってきている。今後も進めて行きたい。	

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑪生活支援のための人材育成と活躍の場づくり 4.3 (4.5)
目的・目標	地域福祉を支える地域住民による生活支援の知識やスキルを高め、支え合いの体制を強化するとともに人材を発掘する。
実施内容 (令和7年度)	・ちよびボラ活動状況 28件 ボランティア29名登録 内容 別添参照
次年度に向けて	継続 ボランティアセンター、ちよびボラを活用し、ボランティア育成とスキルアップや高齢者の社会参加に向けた活動への支援を引き続き行う。

事業名	⑫スキルアップ研修 4.1 (4.2)
目的・目標	福祉の担い手となる方々のスキルアップ向上を図るため、町内福祉施設職員等を対象に、福祉職員としてのスキル等を学ぶ。今後、互いに協力し月形町の福祉を支えていくための仲間づくりを行う。
実施内容 (令和7年度)	令和7年12月2日、10日、17日 3日間開催 8事業所 14名参加 「北海道キャリアパス支援事業」より補助金を受けて開催。 内容:「福祉従事者等スキルアップ研修」 介護、障がいサービス制度と今後の動静について、地域との連携について 講師:各福祉施設より講師依頼(月形藤の園、つきがた友朋の丘、社協)
次年度に向けて	継続 今年度も月形刑務所も研修に参加している。 それぞれの福祉分野で連携できることや親睦を深めることができている。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. ずっしりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	①心配ごと相談・福祉総合相談 3.3 (3.6)
目的・目標	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じて、適切な助言、支援を行い、福祉の向上を図る。また、福祉専門職による福祉総合相談では、関係機関との連携し、解決していけるしくみ作りを行う。
実施内容 (令和7年度)	総合相談3件 ・認知症の方の対応について、地域福祉サービス利用について相談 ・介護保険の利用相談 心配ごと相談 なし
次年度に向けて	継続

事業名	②サロンでの普段着相談 4.0 (4.2)
目的・目標	集いの場において、気軽に相談できる場を提供し、住民と一緒に情報提供体制を整える。
実施内容 (令和7年度)	各地区サロンで実施中 内容：サロン開催時に、日頃の生活の悩み等について傾聴 年間41件 介護相談、スマホの使い方、役場からのお知らせについて ご近所との人間関係について等。受けた相談により各関係機関へつなげている。
次年度に向けて	継続 引き続き、サロン参加者からの相談に応じ、ニーズなどを聞く体制を整えていきたい。

事業名	③地域の防災対策の把握 3.6 (－)
目的・目標	大規模災害への防災対策に向け、町内会等を中心とした災害前中後の支援体制の確認や、駐在所との支援体制の確認を行う。また、福祉施設との災害時の情報共有と対策の強化を図る。
実施内容 (令和7年度)	6月26日(木) 社協運営協議会 各行政区長、事業所、福祉施設の代表が集まり、地域の状況について意見交換をしている。 10月5日(日) 月形町総合防災訓練 参加
次年度に向けて	継続 年1回の定期的に行い情報交換を行う。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	④「見守り推進事業」の対象者への支援 3.8 (4.0)
目的・目標	災害時に、見守り推進事業の対象者に的確な指示ができるよう、日頃から行政区や見守りサポーター等と情報交換をしながら連携強化を図る。
実施内容 (令和7年度)	見守り対象者43名(前年度より1名) 見守りサポーター4名 ・見守り担当者会議 毎月1回実施(参加者:保健福祉課、居宅介護支援、社協) ・見守りサポーター意見交換会:2回(4月、1月)
次年度に向けて	継続 対象者について民生委員・行政区長・関係機関等との情報交換などを行っていきたい。対象者の困難ケースが多く、サポーターだけでの対応が難しくなっている。

事業名	⑤福祉施設との連携強化
目的・目標	町内は福祉施設が多数あり、災害時等の地域住民の受け入れについて連携強化するとともに、支援体制のネットワークづくりを進めていく。
実施内容 (令和7年度)	基本計画2-③再掲
次年度に向けて	基本計画2-③再掲 BCP計画についても連携していく

事業名	⑥あずまし食堂の運営 4.7 (4.6)
目的・目標	参加者やボランティアが一同に介して楽しく食事をするることによって、食生活の改善及び健康の増進、並びに地域社会との交流や孤独感の解消、閉じこもり防止を図ることを目的とする。
実施内容 (令和7年度)	別添参照
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑦世代間交流会 - (4.4)
目的・目標	現代の社会情勢では、地域社会において世代間の交流機会が減っている。世代を超えて様々な人々と関わることは、こどもの学びや成長、高齢者の喜びや生きがいづくりに繋がり、地域の方々と協力し支えあう経験を通し、豊かな人間関係を育み、成長していくよう働きかける。
実施内容 (令和6年度)	基本計画1-⑨再掲
次年度に向けて	基本計画1-⑨再掲

事業名	⑧フードバンクの設置 - (3.0)
目的・目標	住民同士の役割を支え、地域の居場所づくりをつなぐサロンや食堂等へ食べ物を通して食と人を繋げる役割とする活動を行う。
実施内容 (令和7年度)	フードバンク設置は出来ていない。
次年度に向けて	次年度、4期計画に向けて要検討としたい。

事業名	⑨町内会でのサロン - (4.4)
目的・目標	気軽に楽しくおしゃべりをしたり、健康体操・子育ての相談・情報交換・趣味活動などを通して、地域の中での居場所作りや仲間作りを行う。
実施内容 (令和7年度)	基本計画1-⑩再掲
次年度に向けて	継続 基本計画1-⑩再掲

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり		
事業名	⑩土曜日サロン(障がい者)	4.1 (4.2)
目的・目標	地域で障がいのある方を対象に、社会参加や交流の場づくりを目的とする。サロンの中で個々の役割を持ち、やりがいのあるサロン活動を運営する。	
実施内容 (令和7年度)	別添参照	
次年度に向けて	継続 (社協公益的取り組み) 参加範囲を広げ、在宅で障がいのある方や施設利用者もサロンに招待できる仕組みづくりをしていきたい。	

事業名	⑪まんまるカフェ	4.2 (4.3)
目的・目標	子育て中の親子が、子育てに関する考えや悩み等を情報交換しながら交流を図ることを目的とする。また、地域のボランティアとの交流によって子育て中の孤独感を解消し、子育てを楽しみ、育児者の心を休めることも目的とする。	
実施内容 (令和7年度)	別添参照	
次年度に向けて	継続 参加者が口コミで少しずつ増えており、母親同士の交流等開催内容などについて検討していきます。	

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑫男の料理教室 4.0 (4.1)
目的・目標	どこの家庭にもありそうな食材を使用し、家庭料理を作り、参加者の「生活力」に自信をつける。料理をしたことのない方も気軽に参加できる内容で、健康的な食生活を習慣に出来るよう、正しい食材の選び方や栄養学などの知識を身につけることを目標とする。
実施内容 (令和7年度)	(別添参照)
次年度に向けて	継続 参加者、開催内容などについて検討していきたい。

事業名	⑬オープンサロン
目的・目標	あずまし拠点(温泉ホテル)を活用し、自主的グループ集いを支援する。
実施内容 (令和7年度)	なし
次年度に向けて	次年度、4期計画に向けて要検討としたい。

事業名	⑭月形温泉ホテルを拠点とするあずまし交流プラザの運営
目的・目標	共生社会の創造を目指し、町民が主体的に運営する拠点づくりと、誰もが気軽に協働しながら交流する仕組みづくりを行う。
実施内容 (令和7年度)	なし
次年度に向けて	次年度、4期計画に向けて要検討としたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑮地域見守り推進事業(町受託事業) - (4.2)
目的・目標	町全体で見守りの体制づくりを行い、孤立化や孤独死の未然防止を図ることにより、安心して住みなれた地域で暮らしていける体制づくりを行う。高齢者が気軽に相談できる場所(相手)を確保し、見守り事業を通して孤立化を防止し、さらに地域での自然なかたちで声かけや隣近所のつながりの強化を図る。
実施内容 (令和7年度)	基本計画2—④再掲
次年度に向けて	継続 対象者について民生委員・行政区長・関係機関等との情報交換などを行っていききたい。

事業名	⑯生活支援コーディネーターの運用(町受託事業) 3.9 (4.4)
目的・目標	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす。
実施内容 (令和7年度)	・コーディネーター1名 社協配置し活動中 ・生活支援協議会 - 第1回 令和7年9月1日(月) - 内容 ・生活支援コーディネーター活動報告 ・意見交換 「集いの場について」「集いの場の横のつながりについて」 - 第2回 令和8年2月20日(月) - 内容 ・令和8年度の活動に向けて ・研修関係 - 令和7年度生活支援コーディネーター養成研修(応用編) - 令和7年度生活支援コーディネーター養成オンライン研修) - 令和7年度生活支援・介護予防充実強化研修 ・ちよびボラ活動状況 28件 ボランティア登録 29名 ・あずまし食堂、茶屋 別添参照 10ページ～15ページ
次年度に向けて	継続 協議会委員より活発な意見が出るように工夫していきたい

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり		
事業名	⑰検討委員会の運営とモデル事業の実施	4.0 (4.3)
目的・目標	住民主体による在宅ケアづくりを進めるために、在宅ケアの方法やみんなで考える機会や場づくりを進めるとともに、支え合う一つの方法として「サービスの有償化」について考える。	
実施内容 (令和7年度)	別添参照 14ページ～15ページ	
次年度に向けて	継続 相談、ニーズが増えており、引き続き広報活動、ボランティア募集の充実を行う。	

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	①情報提供および相談 - (3.9)
目的・目標	気軽に相談し、情報提供が受けられる仕組みづくりの体制をつくる。
実施内容 (令和7年度)	基本計画2-②再掲
次年度に向けて	継続

事業名	②福祉除雪サービス(町受託事業)
目的・目標	高齢者や障害者世帯へ冬期間の除雪が困難で、支援が必要な世帯に対し、除雪サービスを実施し、日常生活の維持及び緊急時における避難経路の確保を図るとともに、高齢者等の世帯の経済的支援及び冬の暮らしの安全確保を行う。
実施内容 (令和7年度)	令和7年度よりサービスの新事業に変わり、社協の受託はない。
次年度に向けて	

事業名	③配食サービス(町受託事業)
目的・目標	高齢者が食に関し、自立した生活が送れるよう、その必要なものに対し、定期的に食事を届けることにより、食生活の改善を通じて健康保持を図るとともに安否の確認、配食を通じてコミュニケーション及び高齢者の福祉の向上を目的とする。
実施内容 (令和7年度)	・対象者 月平均27名 - 配食日数 257日(週5回) - 延べ配食数 2,602食(前年比-1,119食) - 新規利用者9名(前年比-1名) - 今年度より、週2回コープさっぽろの配食となっている。 ・行事弁当 4回実施 ・嗜好調査の実施
次年度に向けて	継続 自己負担の金額、町の助成の対象外の方々へのニーズについて考えていきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	④福祉有償運送 4.1 (4.4)
目的・目標	満65歳以上及び心身の障がい並びに疾病等の理由により歩行が困難な者や移動の制約を受ける者に対してリフト式車両及びセダン型車両による移送サービスを提供し、福祉の向上を図ることを目的とする。
実施内容 (令和7年度)	・利用会員登録数: 72名(前年比+13名) ・延べ運行回数 834回(前年比+2回) ・10月より運賃の値上げ実施している。
次年度に向けて	継続

事業名	⑤日常生活自立支援事業(道社協受託事業)
目的・目標	高齢や障がいにより日常生活の判断に不安のある在宅で生活している方への福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスをし、権利擁護の視点から日常生活支援を行う。
実施内容 (令和7年度)	・利用件数 継続利用者 2名 生活支援員 2名(うち1名社協職員対応) ・研修関係 9月12日 令和7年度日常生活自立支援事業 生活支援員研修(オンデマンド配信) 11月1日～令和7年度 日常生活自立支援事業生活支援員・自立生活支援専門員・指揮監督者研修(Zoom) 10月27日令和7年度 日常生活自立支援事業専門員研修(対面) 1月8日～日常生活自立支援事業 コンプライアンス研修(オンライン)
次年度に向けて	継続 利用ニーズの必要の方への広報を行う。

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑥心配ごと相談・福祉総合相談窓口の周知 - (3.6)
目的・目標	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じて、適切な助言、支援を行い、福祉の向上を図る。また、福祉専門職による福祉総合相談では、関係機関との連携し、解決していけるしくみ作りを行う。
実施内容 (令和6年度)	基本計画2-①再掲
次年度に向けて	継続

事業名	⑦生活福祉資金貸付(道社協、月形社協)
目的・目標	貸付制度が利用できない低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により経済的自立と生活の安定を目指す。道社協で行っている貸付制度では、町社協が相談窓口となり民生委員の相談窓口を行う。また、月形社協協の貸付制度では、緊急一時的な貸付についても対応を行う。
実施内容 (令和7年度)	・貸付相談 2件 生活保護決定までの貸付 ・月形町社協貸付 4件
次年度に向けて	継続

事業名	⑧生活支援体制整備事業 - (4.1)
目的・目標	高齢者世帯が増えている中、生活支援、介護サービス、高齢者の社会参加を地域全体で考えながら支援していくことを目指し、コーディネーターの配置や、協議体の開催を行い、地域包括ケアシステムを作っていく。
実施内容 (令和7年度)	基本計画2-⑩再掲
次年度に向けて	基本計画2-⑩再掲

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑨生活支援コーディネーターの運用 - (4.2)
目的・目標	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす。
実施内容 (令和7年度)	基本計画2-⑩再掲
次年度に向けて	基本計画2-⑩再掲

事業名	⑩生活支援サービスの整備、充実・生活支援サービス(有償含む) 4.0 (3.2)
目的・目標	介護保険サービス外の生活支援サービスについて有償での在宅福祉サービスのあり方を検討するとともに、社協における有償サービスを推進し、多様なニーズに対応した生活支援の充実を実現する。
実施内容 (令和7年度)	登録者4名(前年比+4名) 実施回数 10回(前年比+9回) 内容 買い物代行、入院時支援、居室掃除等)
次年度に向けて	継続 引き続き、住民周知などを行っていきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑪訪問介護、居宅介護、移動支援、地域活動支援センター 4.4 (4.2)
目的・目標	介護保険法、障害者総合支援法に基づき、入浴、排泄、食事の介助、移動その他生活全般にわたる介護や支援を行う。地域活動支援センターは障がい者の日中活動の場として創作活動、余暇活動支援を行う。
実施内容 (令和7年度)	・訪問介護、居宅介護、移動支援 今年度は、養護施設の利用者増によりサービスが多くなりました。 ○高齢者(介護) 利用者 34名(前年比+21名) ○高齢者(総合事業) 利用者 10名(前年比+5名) 介護、総合事業利用延べ件数 1,229回(前年比+480回) ○障がい者 利用者 10名(前年比+1名) 延べ件数 960回(前年比+102回) ・地域活動支援センター 利用者9名 ・共生デイサービス 支援センター利用者1名
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	①町民フォーラム - (4.5)
目的・目標	急速な少子高齢化・人口減少により、家族形態の多様化やコミュニティ機能の低下など、公的な制度だけでは解決できない様々な福祉課題が発生している。そのような社会情勢に伴う福祉課題に対し、今後の月形町の地域福祉について課題を共有し町民と共に考えることで、互いに支えあいながら安心して暮らせるまちづくりを推進する。
実施内容 (令和7年度)	基本計画1-③再掲
次年度に向けて	基本計画1-③再掲

事業名	②福祉情報の提供 社協だより「ふれあい」の発行(年4回) ホームページ(SNS・Facebook)等での情報発信 3.8 (4.2)
目的・目標	地域住民、関係機関へ地域福祉推進のための情報を提供し、事業の協力、協働を行っていける体制づくりを目指す。
実施内容 (令和7年度)	・広報誌社協だより「ふれあい」 7月、10月、12月、3月発行 ・ホームページ更新(毎月5日) ・Facebook随時更新 なし
次年度に向けて	継続 フェイスブックの継続的な更新を行うえるようにする。

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	③地域の実態や福祉ニーズの把握、支援のあり方など情報の共有化と活動、民生児童委員協議会への参加 3.8 (4.0)
目的・目標	地域の福祉実態やニーズ、問題等について、関係機関との共有を図り、地域福祉の推進を進めていくためのネットワーク作りを行う。また、民生委員・児童委員との協力体制を強め、それぞれの地域課題について解決できるようにしていく。
実施内容 (令和7年度)	・民生委員児童委員協議会への参加 5月、7月、8月、11月、12月、1月出席 ・見守り事業、配食サービス利用の情報提供と連携
次年度に向けて	継続

事業名	④社協の基盤整備、あずましプランの推進、地域包括ケアシステムの構築 3.9 (4.0)
目的・目標	経営組織や財務規律の強化、地域における公益的な取り組み実施等が求められる中、今後の事業、組織運営のあり方を見据え必要な対応を図りながら住民からの福祉のまちづくりへの期待に応えるため、より一層の事業推進を行い、理解と協働を得ながら地域福祉の仕組みづくりを目指す。
実施内容 (令和7年度)	・職員13名(正職4名、嘱託5名、パート4名) 人材不足は続いており募集を継続的にしている。働き方の多様化により、臨時職員の採用が多くなっています。 ・外部業者による任意監査を定期的に実施 ・障がいのある方へのサロン活動(法人公益的取り組み)
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑤地域福祉ネットワーク推進協議会の実施、福祉団体・関係機関等との連携 4.1 (4.4)
目的・目標	住民福祉に関する事業及び活動のより活性化と効率化を目指し関係団体、機関並びに住民相互の連携を図り地域福祉の一層の推進を強化する。
実施内容 (令和7年度)	□地域福祉ネットワーク推進協議会 ・第1回 5月30日(金) 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体、行政区代表 内容:令和6年度事業・決算報告、令和7年度事業計画・予算、令和7年度新任研修会について、令和7年度第1回世代間交流会について、意見交換 ・第2回 9月22日(月) 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体 内容:令和7年度事業実施状況報告、第2回世代間交流会進捗状況について、福祉職員等スキルアップ研修会について、意見交換 ・第3回 3月19日(木) 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体 内容:令和7年度事業報告、令和8年度事業に向けて協議、意見交換 □新任職員研修(施設、企業、行政等) 7事業所 15名参加 7月10日(木) 参加者:各福祉施設等職員、町内企業従業員 内容:刑務所、博物館、月形名所めぐり、昼食交流会 □世代間交流会 ・7月31日(木)第1回世代間交流会「スマホ教室」 34名参加 ・10月11日(土)第2回世代間交流会「ドライフラワーアレンジメントづくり」 56名参加 □推進委員研修会 ・11月15日(土)「認知症対応講座」～わがこととして考えてみよう～ 36名参加 講師 月形藤の園 施設長 保坂 昌知 氏 □スキルアップ研修会 令和7年12月2日(火)、12月10日(水)、12月17日(水) 8事業所14名参加 内容:介護・障害サービス制度の動静やサービスの連携について学ぶ 講師:月形藤の園、つきがた友朋の丘、月形社協
次年度に向けて	継続 事業の開催内容、回数などについて協議会で検討したい。

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑥ボランティアセンターの充実 4.3 (4.3)
目的・目標	住民の主体的な地域活動参加を促進していくために、地域組織の基盤整備や、地域課題に取り組む先進的な活動への支援を行い、活動を通して活動者自身が生きがいを持ち、学びや成長を得られるようにする。また、住民活動により、まちづくりの推進を図っていく。
実施内容 (令和7年度)	・ボランティアセンター運営委員会 5月27日(火) 内容: 令和6年度事業・決算報告、委員長・副委員長の互選について、令和7年度事業計画・予算について、情報・意見交換 ・5月7日 令和6年度ボランティアセンター通信発行 ・8月2日(土)ボランティアスクール(夏) 34名 内容: サバイバルクッキング ・11月15日(土)ボランティアスクール(秋) 36名 内容: 認知症対応講座 ・令和8年3月21日(土)令和7年度ボランティアミーティング 内容: 令和7年度ボランティアセンターの取り組みについて 講話 エンディングノートについて、昼食交流会 ○令和7年度ボランティア登録状況について 個人ボランティア 112名 団体ボランティア 10団体(月形町赤十字奉仕団、月形更生保護女性会、JA月形町女性部、たんぽぽの会、手作り友の会、札比内第1除雪ボランティア、札比内第3除雪ボランティア、札比内第4除雪ボランティア、刑務所除雪ボランティア、北農場1ボランティア)155名 ボランティア活動: 除雪、サロン活動、手芸、福祉施設、配食サービス配送、見守り事業、地域活動支援センター調理、あずまし食堂ボランティア、あずまし茶屋ボランティア、ちよびボラ等
次年度に向けて	継続 担い手不足が課題となっている、町民に向けボランティア活動などを周知をしていきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑦ボランティアによるボランティアの会議 3.5 (3.7)
目的・目標	地域包括ケアシステムの推進を進めていく中、ボランティアの必要性は不可欠になっており、団体ボランティア同士の交流を通して、地域福祉推進を図っていく。
実施内容 (令和7年度)	・令和8年3月21日(土)開催 5団体参加。各団体の活動内容について。
次年度に向けて	継続

事業名	⑧ボランティアセンターの自主財源の造成
目的・目標	自主的財源確保の仕組みづくりを考えていく。
実施内容 (令和7年度)	実施できていない
次年度に向けて	次年度、第4期計画に向けて検討としたい。

事業名	⑨関係法人・団体との事業開発関係法人と組織したあずまし会議の運営 - (3.3)
目的・目標	社会福祉法人等の社会資源を活用した地域貢献活動を支援し、住民ニーズに応えたまちづくりを行う。
実施内容 (令和7年度)	開催していない。 町主催のまちづくり会議にて各法人の取り組み状況について聞いています。
次年度に向けて	継続 次年度は、早い時期に行います。

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり		
事業名	⑩法人体制の整備と強化、職員の育成	3.7 (3.7)
目的・目標	適切な法人運営のための組織強化をし、会費の有効活用をするとともに介護保険事業等を含めた財源対策、地域福祉活動の一層の推進を一体的に進めていくための整備を行う。	
実施内容 (令和7年度)	・法人体制 理事会:5回 評議員会:2回 運営協議会: 6月26日(木)開催 監事監査:4回 ・会費状況 一般会費 1,120世帯(加入率73.78%) 賛助会費 37企業 特別会費 7事業所、個人1名 ・職員体制 正職 4名、嘱託職員 5名、パート4人 計13名 職員研修、会議 毎月1回実施	
次年度に向けて	継続 ・職員のスキルアップを引き続き行う。	

事業名	⑪あずましプラン実施計画の作成、実施および見直しさらに改善 - (4.1)
目的・目標	あずましプラン実施に向け、実施事業・活動を具体的に推進していけるよう実施計画書を作成し、事業の明確化、見直しを各関係機関と共に事業推進を進めていけるようにする。
実施内容 (令和7年度)	基本計画1－①再掲
次年度に向けて	継続、令和8年4月1日より5年目開始となります。第4期計画の策定年となります。